

### 七北田公園都市緑化ホールの催し

春の展示会「クレマチスを楽しむ会」  
 ●期日 5月21日(出)・22日(日)  
 春のバラ展「暮らしにバラを」  
 ●期日 6月4日(出)・5日(日)  
 市民園芸講座

日時	内容等	定員
5/27(金)・28(土) 10:00～11:30	香りを楽しむハーブの寄せ植え ●費用 2千円 ●持ち物 園芸ばさみ・ゴム手袋	各15人(先着)
5/22(日) 10:00～11:30	ヨーロッパの窓辺で育てる「ロゼッタ」の育て方	30人(先着)
5/20(金) 10:00～12:00	庭木の手入れ「花木の剪定」	40人(先着)
5/13(金) 10:00～11:30	ポインセチア、シヤラメンの鉢物管理	30人(先着)

### 地底の森ミュージアムの催し

企画展「仙台の遺跡 地下鉄沿線の遺跡」  
 ●期間 6月19日(日)まで  
 たのしい地底の森教室  
 ●日時 5月22日(日)午後1時半～2時半  
 ●内容 地下展示室のガイド  
 ●直接会場へ

### 仙台文学館の催し

①特別展「まど・みちおのうちゆう」  
 ●期間 6月26日(日)まで  
 別展観覧料 一般700円、高校生400円、小・中学生200円  
 ②まどさんづくしのおはなし  
 ●日時 5月22日(日)午前11時～11時40分 ●定員 20人(先着)  
 ●内容 「まどさんのへや」による読み聞かせなど ●直接会場へ  
 ③学芸員による展示解説  
 ●日時 5月22日(日)午後2時～3時 ●特別展観覧料が必要

### 野草園の催し

①仙台植物園の会作品展  
 ●期間 5月13日(金)～22日(日)  
 ●樹脂粘土「ほんものそっくり山野草」展  
 ●期間 5月26日(木)～6月6日(月)  
 ②緑陰ヨガでリフレッシュ  
 ●日時 5月15日(日)午前10時半～正午 ●対象 中学生以上25人(先着)  
 ●動きやすい服装で  
 ③野草園風譚「野辺に咲く花野の再生」  
 ●日時 5月21日(出)午前10時半～正午 ●直接会場へ  
 ④初心者写真撮影講座「ナチュ・フォト」  
 ●日時 6月4日(出)午前10時半～午後3時 ●対象 デジタルカメラの初心者10人(先着)

### ご希望の情報をメール配信しています

イベント情報、子育て情報、ごみ収集日のお知らせなど、さまざまな情報を気軽に取り取ることができる「仙台市メール配信サービス」を行っています。37種類の中からご希望の分野を選択し、メールアドレスを登録すると、携帯電話やパソコンで電子メールを受け取ることができます。情報の種類など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

### ◆登録方法

①パソコンから登録する場合＝市ホームページから、パソコンや携帯電話へのメール配信を登録できます  
 ②携帯電話から登録する場合＝メールアドレス(ml@sendai-mail.jp)へ空メールを送信してください。2次元コードを読み取り可能な携帯電話をお使いの方は、右の2次元コードをご利用ください  
 ※登録は無料です。ただし、メールの受信等に掛かる通信料・パケット通信費は利用される方の負担となります



問情報政策課 ☎214・1260

### 森を育てる2016

2万年前の森の景観を復元した野外展示「氷河期の森」を一緒に育てます。  
 ●日時 6月19日、7月17日、8月21日、9月18日、10月16日 各日曜日(全5回) 午後1時半～3時半 ●対象 小学生以上の子どもの保護者15組(抽選)  
 ●費用 1人300円 申往復はがきまたはファクス、Eメールに  
 ④「申込時の必要事項」と参加者全員の氏名・子どもの学年も記入して、5月31日(必着)までに  
 ※いずれも申・問地底の森ミュージアム(〒981-0012 太白区長町南4-3-1 ☎246・9153、FAX 246・9158、Eメール:for-est@coral.ocn.ne.jp)

### 直接会場へ

④講演会「まど・みちおの生涯―幼き日の思い出は永遠に―」  
 ●日時 6月4日(出)午後1時半～3時 ●定員 80人(抽選)  
 ●出演 山口県周南市美術博物館館長・有田順一氏 ●特別展観覧券の半券が必要  
 ⑤仙台文学館ゼミナール「まど・みちおを読む」  
 ●日時 6月2日・9日・16日 各木曜日(全3回) 午前10時半～正午 ●定員 50人(抽選)  
 ●講師 歌人・佐藤通雅氏 ●費用 各500円  
 ⑥小池光短歌講座  
 ●日時 6月11日(出)午後1時半～3時40分 ●定員 90人(抽選)  
 ●費用 1000円  
 ※④～⑥の申往復はがきに「申込時の必要事項」を記入して④⑤⑥月17日⑥5月14日(いずれも必着)までに 申・問仙台文学館(〒981-0902 青葉区北根2-7-1 ☎271・3020)

### 青葉の森緑地の催し

みどり遊ば森のおさんぽ  
 ●日時 5月22日(日)午前10時～正午 ●内容 葉っぱで遊んだり散歩したりして森の自然を楽しみます ●対象 4歳以上の未就学児と保護者15人(先着) 大人の森あるき  
 ●日時 5月29日(日)午前10時～正午 ●定員 15人(先着)

### 秋保の四季スケッチ&写真展

●日時 5月15日(日)までの午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)  
 秋保の民話語り  
 ●日時 5月8日(日)・22日(日)午前10時半～11時半 ●直接会場へ

### あきうフラワーフェスタ2016

●日時 5月28日(出)～6月5日(日)午前10時～午後4時 ●直接会場へ  
 あきうミュージックライブ  
 ●日時 5月28日(出)、6月4日(出)午前11時～午後2時 ●直接会場へ  
 ※いずれも申・問秋保・里センター ☎304・9151

### アニパル仙台のお知らせ

日時	内容等
5/28(土)	①猫の「しっぽゆらゆら」 ②犬の「しっぽゆらゆら」 ③猫の「しっぽゆらゆら」 ④犬の「しっぽゆらゆら」 ⑤猫の「しっぽゆらゆら」 ⑥犬の「しっぽゆらゆら」 ⑦猫の「しっぽゆらゆら」 ⑧犬の「しっぽゆらゆら」 ⑨猫の「しっぽゆらゆら」 ⑩犬の「しっぽゆらゆら」

①電話連絡の上、アニパル仙台で配布する猫譲渡チェックリスト(市ホームページからも取り出せます)を5月20日までに提出。詳しくはお問い合わせください②直接会場へ

### G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議開催記念 春のアレマキャンペーン

期間＝5月16日(月)～6月12日(日)  
 ポイ捨てを見て「アレマ」と感じた皆さんが、「アレマ隊」として気軽に清掃活動に参加できる「アレマキャンペーン」を実施します。  
 ◆全市一斉「ポイ捨てごみ」調査・清掃活動  
 キャンペーン期間中、ポイ捨てごみの調査・清掃活動を行い、その結果をアレマレポート(活動報告様式)に記入してお送りください。どなたでも参加できます。申込者には参加キット(ごみ袋・アレマレポート・小学生以下にはミニ缶バッチ)をお送りします。申し込み方法はお問い合わせください。  
 ◆G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議開催記念 仙台中央地区 春の「ポイ捨て」防止キャンペーン  
 ●日時＝5月16日(月)14:00～15:00 ●内容＝ポイ捨て防止を通行人へ呼び掛ける啓発活動と清掃活動  
 ●集合場所＝(1)R仙台駅交番前(2)グリーンハウス勾当台前のいずれか ●集合時間＝いずれも13:45 ●持ち物＝軍手 申団体(10人以上)で参加する場合は電話で5月13日までに。個人で参加する場合は直接集合場所へ  
 申・問廃棄物管理課 ☎214・8250

### 大倉ふるさとセンターの催し

親子で農業体験  
 ●日時 5月15日(日)午前10時～午後3時 ●内容 田植えや野菜の種まきの体験 ●対象 小学生以上の子どもの保護者40人(先着) ●費用 1組2400円(昼食付き)  
 沢歩きたんけん隊  
 ●日時 5月22日(日)午前10時～午後4時 ●内容 水辺の生き物や植物を観察します ●対象

### 杜の都の彫刻めぐり「森林浴と彫刻巡り」

●日時 6月18日(出)午前10時～正午 ●コース 台原森林公園  
 ●定員 30人(抽選) ●徒歩で移動します 申はがきまたはファクス、Eメールに「申込時の必要事項」を記入して5月27日(必着)までに 〒980-8671 百年の杜推進課 ☎214・8389、FAX 216・0637、Eメール keno10241@city.sendai.jp

### 大人女子デイキャンプ教室

●日時 6月11日(出)午前10時半～午後6時半 ●会場 水の森公園キャンプ場 ●内容 アウトドア料理やヨガなどを体験します ●対象 20歳以上の女性20人(抽選) ●費用 2千円 申はがきまたはファクス(一枚につき2人まで)に「申込時の必要事項」と年齢を記入して5月20日(必着)までに 申・問仙台市公園緑地協会(〒983-0842 宮城野区五輪1-3-35 ☎293・3605) 83、FAX 293・3605)

### 5月10日～16日は愛鳥週間

この時期は野鳥の産卵・子育ての時期です。この機会にヒナや親鳥の特性を知り、鳥との適切なつきあい方を学びましょう。  
 ◆ヒナを拾わないで  
 巣立ち直後のヒナはうまく飛べず、取り残されているように見ることがあります。近くに親鳥がいる可能性がありますので、親子を引き離さないために拾わないようにしましょう。  
 ◆子育て中のカラスに気をつけて  
 人が巣に近づくと、親鳥は威嚇して卵やヒナを守ろうとします。執拗に鳴くなど警戒するカラスを見掛けたら、ヒナが巣立つまで近づかないようにするか、どうしても近くを通るときは帽子や傘で身を守りましょう。  
 ◆ハトにエサをやらないで  
 栄養状態が良くなり産卵を繰り返すので、ハトの数が増えてふんや羽毛による生活被害が生じます。エサを与えなくとも、ハトは木の実や芽、種などの自然の食べ物で生きていきます。  
 ※主な野生鳥獣の特徴は、市ホームページでもご覧いただけます  
 問区役所区民生活課、宮城総合支所まちづくり推進課、秋保総合支所総務課(☎は10ページ)、環境共生課 ☎214・0013